

# インバウンドスポーツツーリストの制約要因

## ラグビーワールドカップイングランド大会外国人ファンアンケート調査から

にし お たつる  
西尾 建 山口大学経済学部

This study examines the expected tourist behavior and the constraint factors affecting potential inbound tourists for the Rugby World Cup 2019 in Japan. Data were collected from overseas attendances ( $N=389$ ) at the Twickenham Stadium, the Wembley Stadium, and the Olympic Stadium in London, and Villa Park in Birmingham during the Rugby World Cup in England in 2015. The questionnaire items included demographics, past travel experiences and expected tourist behavior in Japan, and 30 items relating to constraint factors if they plan to go to the RWC 2019 in Japan. The results show the implications for inbound tourist marketing strategy with regard to attending international sports events in the future.

キーワード：インバウンドツーリズム、スポーツツーリズム、制約要因、スポーツイベント

Keyword : Inbound Tourism, Sport Tourism, Constraints, Sports Event

### 1. はじめに

#### 1-1 研究の背景と目的

日本政府はインバウンド観光客増加を重要な政策と位置づけ東京五輪が開催される2020年にはインバウンド観光客数4000万人、訪日外国人消費額6兆円という目標を掲げておりインバウンド政策の一つの施策として国際スポーツイベントの招致を積極的に進めている。2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが、2021年には関西ワールドマスタースゲームズが開催される。この3年間の大会期間中、多くのスポーツツーリストが日本を訪れることになり旅行産業、行政および管轄のスポーツ団体などイベントのステークホルダーにとってこれらのインバウンドツーリストが日本でどのようなことを求め、また旅行を決めるときにどのような制約要因が影響しているのかを分析することは、重要になってくるだろう。本研究では、2015年英国で開催されたラグビーワールドカップイングランド大会で、実際にスタジアムで観戦した外国人ラグビーファン（日本人以外）に対するアンケート調査をもとに、インバウンド

ツーリストが日本大会で観戦を考えるにあたっての日本での観光行動および制約要因について調査した。

#### 1-2 ラグビーワールドカップ

ラグビーワールドカップは、1987年に始まった国際的なスポーツイベントである。100年以上の歴史を持つオリンピックやサッカーFIFAワールドカップと比べてまだ歴史の浅い大会であるが、1990年代半ばのラグビーユニオンのプロ化以来大会規模は急速に拡大し2015年イングランド大会では、247万人の観客を集め夏季オリンピック・パラリンピック大会、FIFAサッカーワールドカップと並ぶ世界3大スポーツイベントに成長した（表1）

#### ラグビーワールドカップイングランド大会

ラグビーワールドカップイングランド大会は、2015年9月18日から10月31日の期間、英国イングランド及びウエールズの13会場で開催された。

大会参加国は、大会主催のイングランドをはじめ、ニュージーランド、フランス、オーストラリア、ウエールズ、アイルランド、アルゼンチン、南アフリカ、トンガ、スコットランド、イタリア、サモア、ジョージア、ルーマニア、フィジー、ナミビア、カナダ、アメリカ、ウルグアイと日本の20カ国が参加した。大会は世界ラグビーランキング1位のニュージーランドがオーストラリアを破り優勝した。日本代表は、予選リーグで敗

表1 ラグビーワールドカップ開催国と観戦者数

| 開催年  | 開催国              | 参加国 | 試合数 | 優勝チーム    | 観戦者数<br>(万人) |
|------|------------------|-----|-----|----------|--------------|
| 1987 | ニュージーランド&オーストラリア | 16  | 32  | ニュージーランド | 60           |
| 1991 | イングランド（英国）       | 16  | 32  | オーストラリア  | 101          |
| 1995 | 南アフリカ            | 16  | 32  | 南アフリカ    | 110          |
| 1999 | ウエールズ（英国）        | 20  | 41  | オーストラリア  | 175          |
| 2003 | オーストラリア          | 20  | 48  | イングランド   | 183          |
| 2007 | フランス             | 20  | 48  | 南アフリカ    | 226          |
| 2011 | ニュージーランド         | 20  | 48  | ニュージーランド | 147          |
| 2015 | イングランド（英国）       | 20  | 48  | ニュージーランド | 247          |
| 2019 | 日本               | 20  | 48  |          |              |

表2 ラグビーワールドカップイングランド大会と日本大会のスタジアムと収容人数

| 2015 イングランド大会 |              |        | 2019 日本大会 |                 |        |
|---------------|--------------|--------|-----------|-----------------|--------|
| 都市            | スタジアム        | 収容人数   | 都市        | スタジアム           | 収容人数   |
| ロンドン          | トウイッケナム      | 81,000 | 札幌        | 札幌ドーム           | 41,000 |
| ロンドン          | ウエンブリー       | 90,000 | 釜石        | 釜石鶴住住居復興スタジアム   | 16,000 |
| ロンドン          | オリンピック       | 54,000 | 熊谷        | 熊谷ラグビー場         | 24,000 |
| マンチェスター       | シテイオブマンチェスター | 55,000 | 東京        | 東京スタジアム         | 50,000 |
| ニューカッスル       | セントジェームスパーク  | 52,000 | 横浜        | 横浜総合競技場         | 72,000 |
| バーミンガム        | ヴィラパーク       | 43,000 | 静岡        | エコパスタジアム        | 51,000 |
| リーズ           | エランドロード      | 38,000 | 愛知        | 豊田スタジアム         | 45,000 |
| レスター          | レスターシテイ      | 32,000 | 大阪        | 東大阪花園ラグビー場      | 30,000 |
| ミルトンキーンズ      | スタジアム mk     | 31,000 | 神戸        | 神戸市御崎公園球技場      | 30,000 |
| ブライトン         | ブライトンコミュニティ  | 31,000 | 大分        | 大分スポーツ公園総合競技場   | 40,000 |
| グロスター         | キングスホルム      | 16,000 | 福岡        | 博多の森球技場         | 22,000 |
| エクスター         | サンデイパーク      | 12,000 | 熊本        | 熊本県民総合運動公園陸上競技場 | 30,000 |
| カーディフ(ウエルズ)   | ミレニアム        | 74,000 |           |                 |        |

退したものの「ブライトンの奇跡」と言われる番狂わせで、優勝候補の一角の南アフリカに勝利し大きな話題になった。日本代表チームは、ラグビーワールドカップ第1回大会から全大会に参加しており、2019年大会は日本全12都市（札幌、釜石、埼玉、東京、横浜、静岡、豊田、神戸、大阪、福岡、熊本、大分）で開催される。2019年日本大会は、アジアで開催される初の大会になり、大会のステークホルダーにとって、海外から来る観戦ツーリストの動機や制約などの要因分析は、マーケティングをする上でも重要になってくる。本研究では、イングランド大会に観戦に訪れたインバウンドスポーツファン（日本人以外）を対象に日本大会で観戦旅行での制約要因について考える。

### 1-3 先行研究レビュー

本研究は、インバウンドスポーツツーリストの日本での観光行動と制約要因に関する分析であり調査対象は、国境を越えて海外で観戦するラグビーワールドカップファンである。原田&木村（2008）は、スポーツファンをスポーツツーリズムのフレームワークで分類をしているが、イングランド及び日本に来る観戦者は観戦型インバウンドツーリストと分類することができる（原田&木村 2008）。国際的なスポーツ観戦ツーリスト行動に関する研究では制約要因に関するものはほとんどなく、スポーツイベントを招致する自治体やスポーツ団体、観光業界に

とって潜在的インバウンドツーリストの制約要因を分析することは、重要である。

制約に関しては、余暇研究を中心に進んで来た。Lepisto&Hannaford（1980）らは、制御できる制約、一部制御できる制約、制御できない制約に分類、Crawford（1991）らはこれらをもとにして、レジャー参加者の意思決定モデルには、レジャーの選好、人間間相互比較、調整、参加の決定の3段階に分類し、参加者はこのプロセスで動くことを示した。Trailら（2008）は、構造的制約をスタジアム観戦についてスタジアム内とスタジアム外の制約に分けて分析している。Nishio（2014）は、海外スポーツ観戦旅行における制約要因として代替レジャー、安全性、観光地の魅力不足、文化の違い、同行者、距離をあげている。ラグビーファンについてもいくつかの研究がある。Garland（2007）らは、ニュージーランド国内ラグビー選手権の観戦者を、ラグビーに対するコミットメントの強さから3つに分類し、それぞれのファン層を制御できる制約と制御できない制約に分けて分類した。西尾（2011）はラグビーワールドカップ2011年ニュージーランド大会の潜在的ファンに対して因子分析を使って7つの制約要因（同行者、文化の違い、距離）、結果の不確実性、代替レジャーへの投資、安全、ラグビー情報、経済的問題）を抽出しレジャーの意思決定プロセスの文脈で考察した。国際的ラグビーファンの研究では、Davies & Williment（2008）はブリティッシュライオンズツアーのファ

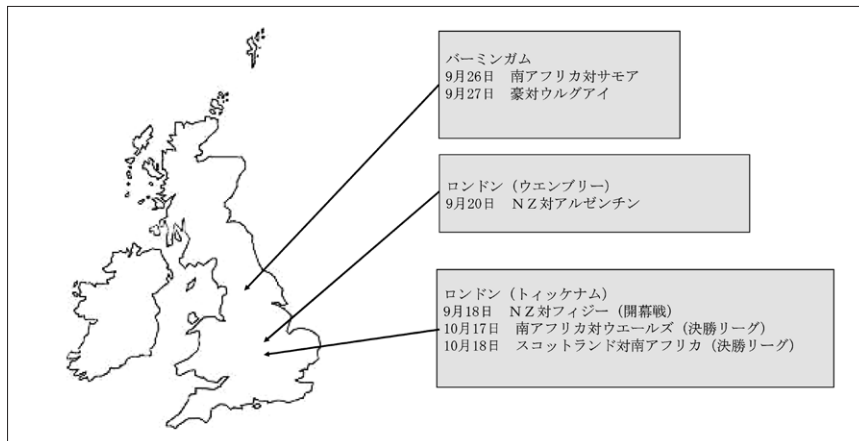
ンに対して調査し海外ラグビーファンを年配男性の富裕層という分析をしている。

スポーツおよび観光関係の研究所でもスポーツ観戦および海外旅行の阻害要因という調査を実施している。笹川スポーツ財団（2016）は、過去1年テレビによるスポーツ観戦種目別観戦率の調査を実施（n=3,000）、ラグビーは観戦率19.0%で15位（男性24.1%で15位、女性観戦率14.0%で13位）という結果であった（1位は観戦率53.8%プロ野球で男性1位は64.9%のプロ野球で女性は59.1%のフィギュアスケート）。イングランドでのアンケート調査時のJTB総合研究所（2015）調査では、「海外旅行志向調査（n=448）」で海外旅行の阻害要因の上位として、「治安が心配である（58.9%）」「費用がかかりすぎる（38.4%）」「言葉に不安である（36.6%）」「なんとなく行く気になれない（29.9%）」「食べ物があわない（29.2%）」をあげている。国際的なスポーツ観戦ツーリスト行動に関する研究では観戦者の動機を分析したものが制約に関するものは多くない。本研究は、国際スポーツイベントで実施する初のインバウンドファン制約調査である。

## 2. 調査概要

調査は、2015年英国で開催されたラグビーワールドカップイングランド大会3会場、予選リーグ4試合、決勝リーグ2試合に分けて実施した（図1）。アンケート項目は、性別、年齢、職業、居住国などの属性、ワールドカップの観戦歴、2019年ラグビーワールドカップ日本大会を観戦するにあたっての予算、観光行動、国内での交通手段、日本12会場の認知度、日本のイメージなど日本に関する質問と制約要因についてである。制約要因については先行研究レビューでも示した項目に、過去のレジャー研究、ファン調査、研究機関の調査の上位に上がっているものなどの項目を加えて、制約要因30項目について7段階のリカート尺度で質問を設定した。分析に関しては、これら30の

図1 アンケート調査日と試合会場



質問項目に対して男女差を独立 t 検定、国別、年齢層、年収別に One-Way ANOVA で有意な違いのあるものについて分析考察した。

3. 結果

3-1 観戦者の属性と過去のワールドカップ観戦歴

アンケート調査は、9月18日開幕戦のトイッケナムスタジアムのイングランド対フィジーの開幕戦 (n=91) をはじめ、20日ウエンプリースタジアムのニュージーランドオールブラックス対アルゼンチン (n=52)、26日のバーミンガムの南アフリカ対サモア (n=52)、27日のオーストラリア対ウルグアイ戦 (n=44)。さらに決勝リーグ10月17日ウエルズ対南アフリカ (n=61) と18日スコットランド対南アフリカ (n=89) の計6試合であり各会場からアンケートを回収した。アンケート調査の結果389名の外国人観戦者から有効回答を得た。

属性については、居住地別では英国イングランドが会場であったため英国人の比率が262人 (69.2%) と一番多く、ついで南アフリカ32人 (8.2%)、オーストラリア28人 (7.2%) であった。ラグビーが他の欧州諸国と比べてもあまり盛んでないドイツ10人 (2.6%)、アルゼンチン7人 (1.8%)、スイス7人 (1.8%) であった。ラグビーが盛んな隣国のフランスは4人 (1.0%) と、質問紙が英語であったため回答数は少なかった。性別では、男

性259人 (67%) が約3分の2をしめ、年齢層は30歳代93人 (23.9%) および40歳代90人 (23.1%) の観戦者が他の年代に比べて多かった。家計の合計年収という質問に対しては、回答数は (n=139) 少なかったが、家計合計1000万円以上は74人 (53.2%)、500万から1,000万円が47人

(33.8%)、500万未満は18人 (12.9%) であった。

過去のワールドカップ観戦経験については、観戦経験があると答えた人は111人 (28.5%) で2011年ニュージーランド大会の観戦者は23人、2007年フランス大会は42人、2003年オーストラリア大会は23人、1999年ウエルズ大会は32人、1995年の南アフリカ大会は21人、1991年イングランド大会は4人であった。英国近隣の2007年フランス大会、1999年ウエルズ大会の観戦者が、南半球の3大会 (2011年ニュージーランド大会、2003年オーストラリア大会、1995年南アフリカ大会) より多かった。本大会の観戦試合数は、1試合142人 (36.5%) もしくは2試合104人 (26.7%) の観戦者の比率が多かったが、5試合以上の観戦を考えている人も48人 (12.4%) いた。

表3 ラグビーワールドカップイングランド大会外国人観戦者 (日本人以外) の属性

|        | 人数       | %         |      | 人数   | %      |      |      |
|--------|----------|-----------|------|------|--------|------|------|
| 性別     | 男性       | 259       | 66.6 | 年齢層  | -20    | 12   | 3.1  |
|        | 女性       | 130       | 33.4 |      | 21-30  | 78   | 20.1 |
| 居住国    | 英国       | 269       | 69.2 |      | 31-40  | 93   | 23.9 |
|        |          |           |      |      | 南アフリカ  | 32   | 8.2  |
|        | オーストラリア  | 28        | 7.2  |      | 51-60  | 69   | 17.7 |
|        | ドイツ      | 10        | 2.6  |      | 61-70  | 44   | 11.3 |
|        | ニュージーランド | 9         | 2.3  |      | 71-    | 3    | 0.8  |
|        | アルゼンチン   | 7         | 1.8  | 未婚   | 既婚     | 249  | 64.0 |
|        | スイス      | 7         | 1.8  |      | 未婚     | 140  | 36.0 |
|        | 職業       | フランス      | 4    | 1.0  | 子供     | いる   | 218  |
| シンガポール |          | 4         | 1.0  | 会社員  |        | 168  | 53.2 |
| 米国     |          | 4         | 1.0  |      | 自営業、経営 | 72   | 22.8 |
| その他    |          | 15        | 3.8  |      | 公務員    | 25   | 7.9  |
| 世帯収入   |          | 1000万以上   | 74   |      | 53.2   | リタイア | 25   |
|        |          | 500-1000万 | 47   | 33.8 | 学生     | 19   | 6.4  |
|        | 500万未満   | 18        | 12.9 | その他  | 7      | 1.8  |      |

\* 世帯年収は調査時の為替レート £=160円で計算

表4 過去のラグビーワールドカップ観戦歴とイングランド大会の予定観戦試合数

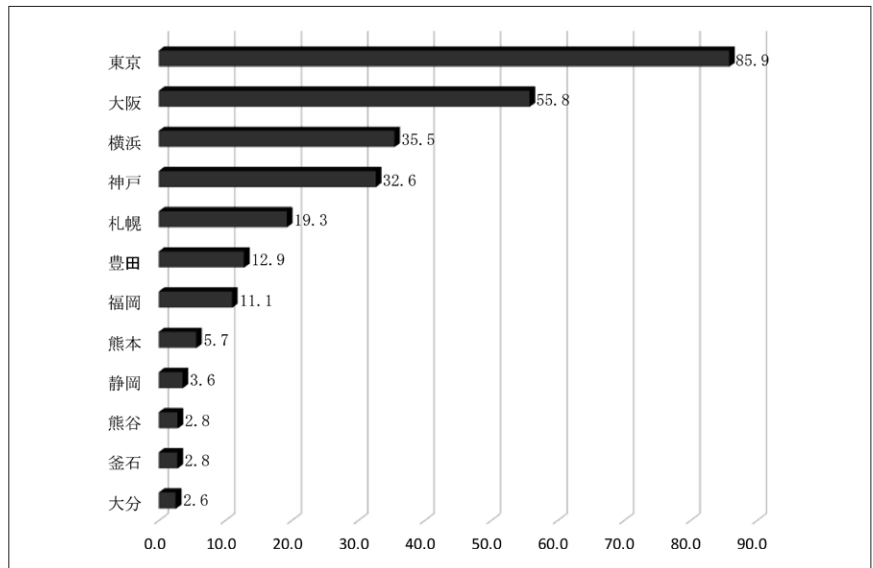
|            | 人数    | %        |      | 人数           | %  |     |      |
|------------|-------|----------|------|--------------|----|-----|------|
| 過去の W 杯観戦歴 | ない    | 278      | 71.5 | 今大会何試合観戦しますか | 1  | 142 | 36.5 |
|            | ある    | 111      | 28.5 |              | 2  | 104 | 26.7 |
|            |       |          |      |              | 3  | 57  | 14.7 |
| 過去の W 杯の観戦 | 2011年 | ニュージーランド | 23   | 4            | 38 | 9.8 |      |
|            | 2007年 | フランス     | 42   | 5            | 21 | 5.4 |      |
|            | 2003年 | オーストラリア  | 23   | 6            | 14 | 3.6 |      |
|            | 1999年 | ウエルズ     | 32   | 7            | 7  | 1.8 |      |
|            | 1995年 | 南アフリカ    | 21   | 8            | 2  | .5  |      |
|            | 1991年 | イングランド   | 4    | 10           | 3  | .8  |      |
|            | 1987年 | NZ& 豪共催  | 0    | 12           | 1  | .3  |      |

3-2 ラグビーワールドカップ日本大会  
観戦での観光行動について

今回調査した外国人ファンの中で、日本へ渡航歴のある人はわずか63人(16.3%)であったが、日本大会の観戦を考えているという人は、349人(89.7%)とほぼ9割をしめた。希望滞在期間は7日以内の滞在希望者はわずか28人(12.4%)で、1週間から2週間の滞在希望者が130人(57.5%)で最も多く2週間以上を希望する観戦者が68人(30.1%)であった。

日本大会での観戦以外にやってみたいアクティビティとしては、観光289人(94.8%)、温泉150人(49.2%)、ショッピング139人(45.6%)博物館138人(45.2%)、グルメ116人(38.0%)、トレッキング96人(31.5%)が上位をしめた。日本での移動交通機関では、鉄道212人(78.5%)が最も多く、バス60人(22.2%)、レンタカー36人(13.3%)、飛行機19人(7.0%)と続いた。予算に関しては回答者数が少なかったが、合計旅行費用平均が572,720円で、航空券に181,811円、宿泊1泊(宿泊についてのみ1グループあたり)に

図2 外国人観戦者の日本大会の開催都市の認知度



59,573円、食事1日に9,938円、お土産に27,702円、オプションツアーに69,534円という結果であった。

日本への観戦旅行で必要なものとしては、「英語の情報228人(74.5%)」「レストラン222人(72.5%)」「Wi-Fi198人(72.5%)」「バー169人(55.2%)」が上位をしめた。旅行に関する情報源は、「WEB242人(84.0%)」が圧倒的に多く

「人的情報101人(35.1%)」「友人61人(21.2%)」「旅行会社48人(16.7%)」と続いた。

日本に対するイメージでは「Cultural(16人)」「Beautiful(14人)」「Friendly(13人)」「Clean(9人)」「Organized(9人)」「Polite(8人)」「Modern(8人)」「Technology(6人)」が上位にきた。

日本で実施に試合が開催される12会場都市の認知度では、東京(85.9%)、大阪(55.8%)、横浜(35.5%)、神戸(32.6%)など大都市は海外でも認知されているが、地方都市は軒並み10%以下であった。外国人の日本の地方都市の認知度の低さが明らかになった(図2)。

表5 潜在的インバウンドツーリストが日本大会の観戦を考えるにあたっての調査

|                              |        | 人数  | %    | 回答人数  |       |         |
|------------------------------|--------|-----|------|-------|-------|---------|
|                              |        |     |      | 人数    | ポンド   | 円       |
| 2019W杯日本へ<br>行きたいですか         | はい     | 349 | 89.7 | 197   | 3,182 | 572,720 |
|                              | いいえ    | 39  | 10.1 | 83    | 1,010 | 181,811 |
| 日本へ行ったこ<br>とは                | ある     | 63  | 16.3 | 83    | 331   | 59,573  |
|                              | ない     | 324 | 83.8 | 73    | 55    | 9,938   |
| 日本W杯観戦に<br>行くとすれば何<br>日滞在したい | -7日    | 28  | 12.4 | 41    | 154   | 27,702  |
|                              | 8-14日  | 130 | 57.5 | 27    | 386   | 69,534  |
|                              | 15日以上  | 68  | 30.1 |       |       |         |
|                              |        |     |      | 人数    | %     |         |
|                              |        |     |      | 228   | 74.5  |         |
| 日本で何がした<br>いか                | 観光     | 289 | 94.8 | 222   | 72.5  |         |
|                              | 温泉     | 150 | 49.2 |       |       |         |
|                              | ショッピング | 139 | 45.6 | wifi  | 198   | 64.7    |
|                              | 博物館    | 138 | 45.2 | バー    | 169   | 55.2    |
|                              | グルメ    | 116 | 38.0 | プール   | 53    | 17.3    |
|                              | トレッキング | 96  | 31.5 | ジム    | 44    | 14.4    |
|                              | 他のスポーツ | 56  | 18.4 | 医療    | 34    | 11.1    |
|                              | 観劇、劇場  | 39  | 12.8 | 託児所   | 15    | 4.9     |
|                              | その他    | 25  | 8.2  | 旅行情報は |       |         |
|                              |        |     |      | WEB   | 242   | 84.0    |
| 日本でのおもな<br>交通機関              | 鉄道     | 212 | 78.5 | どこから  |       |         |
|                              | バス     | 60  | 22.2 | 人的情報  | 101   | 35.1    |
|                              | レンタカー  | 36  | 13.3 | 友人    | 61    | 21.2    |
|                              | 飛行機    | 19  | 7.0  | 旅行会社  | 48    | 16.7    |
|                              | その他    | 7   | 2.6  | 旅行雑誌  | 41    | 14.2    |
|                              |        |     |      | TV    | 14    | 4.9     |
|                              |        |     | その他  | 10    | 3.5   |         |

\*大会時為替レート (£=180)で計算

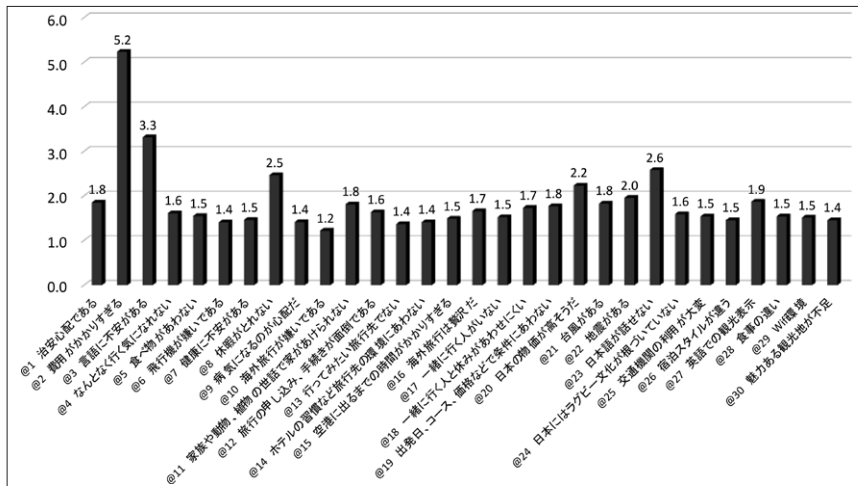
3-3 日本観戦に向けての制約要因につ  
いて

外国人ラグビーファンが日本への観戦旅行を考えるにあたっての制約要因30項目のスコアは関しては以下のような結果になった(図3挿入)。

制約のスコアが最も高かったのは、「費用がかかりすぎる(M=5.2:SD=1.7)」であった。「日本の物価が高そうだ(M=2.2:SD=1.7)」も高いスコアを示しており、考えている予算として食事(1日9,938円)や宿泊費(1泊約59,573円—海外の場合1グループ)の結果を見ても日本は物価が高いというイメージを持って



図3 制約項目のスコア (7強く思う-1まったく思わない)



いる。次にスコアの高い要因として「言語に不安がある (M=3.3 : SD=2.0)」「日本語が話せない (M=2.6 : SD=2.0)」「英語での観光表示 (M=1.9 : SD=1.7)」という言葉の問題であり、日本では英語が通じないと感じている人が多いようであり、多くの外国人が日本での英語及び母国言語でのサービスに不安を感じてい

る。「休暇が取れない (M=2.5 : SD=1.8)」のも大きな制約要因の一つである。フランスやイタリアからイギリスの移動やニュージーランドからオーストラリアの移動であれば、短期間の滞在で数試合観戦して帰ってくるができるが、今回の調査では日本への観戦旅行では87.6%の人が1週間以上の観戦を望んで

おり、経済面とあわせて取得休暇も制約になっている。他に天災に関する要因のスコア「地震がある (M=2.0 : SD=1.5)」「台風がある (M=1.8 : SD=1.4)」も高かった。

属性による分析

次に制約要因を属性によって比較してみた。男女の比較に関しては独立t検定を使い、国別、年齢層別、家計年収別の比較はOne-Way ANOVA を用いて比較分析をした。国別に関してはサンプル数の少ない国もあったので、ラグビー観戦者を3つの地域(ヨーロッパ、オセアニア、南アフリカとアルゼンチンなど南米)に分けた。年齢層は、40歳以下、40歳以上60歳以下、61歳以上の3分類、合計家計所得では、日本円で500万円未満、500万円以上1,000万円未満、1,000万円以上の3分類にした(2015年9月末ポンド円為替レート181円で換算)。

**性別** 男女間で有意差のあった制約要因

表6 制約要因スコアの属性による違い (グレイ部分は有意な差があったもの)

| 分析手法<br>属性<br>種別<br>サンプル数 | 独立 t 検定 |      | One-Way ANOVA 分析 |       |       |      |       |      |          |         |         |
|---------------------------|---------|------|------------------|-------|-------|------|-------|------|----------|---------|---------|
|                           | 性別      |      | 地域別              |       |       | 年齢層別 |       |      | 家計合計年収別  |         |         |
|                           | 女性      | 男性   | 欧州               | オセアニア | 南アと南米 | -40  | 41-60 | 61-  | 1000万円以上 | 500万円以上 | 500万円未満 |
| @1 安安心配である                | 1.91    | 1.82 | 1.79             | 1.89  | 2.10  | 1.83 | 1.59  | 4.7  | 7.4      | 4.7     | 1.8     |
| @2 費用がかかりすぎる              | 5.26    | 5.22 | 1.83             | 5.30  | 4.13  | 5.36 | 5.09  | 5.21 | 5.14     | 5.21    | 5.83    |
| @3 言語に不安がある               | 3.38    | 3.28 | 3.31             | 2.84  | 3.81  | 3.41 | 3.04  | 3.85 | 2.88     | 2.96    | 4.44    |
| @4 なんとなく行く気になれない          | 1.69    | 1.57 | 1.63             | 1.66  | 1.54  | 1.57 | 1.57  | 1.91 | 1.39     | 1.13    | 1.83    |
| @5 食べ物があわない               | 1.51    | 1.56 | 1.52             | 1.14  | 1.95  | 1.46 | 1.58  | 1.77 | 1.39     | 1.33    | 1.89    |
| @6 飛行機が嫌いだ                | 1.55    | 1.33 | 1.45             | 1.18  | 1.25  | 1.43 | 1.29  | 1.67 | 1.26     | 1.28    | 1.17    |
| @7 健康に不安がある               | 1.48    | 1.45 | 1.44             | 1.39  | 1.51  | 1.47 | 1.39  | 1.62 | 1.41     | 1.32    | 1.33    |
| @8 休暇がとれない                | 2.58    | 2.40 | 2.48             | 2.76  | 2.10  | 2.74 | 2.35  | 1.74 | 2.64     | 2.57    | 2.67    |
| @9 病気になるのが心配だ             | 1.52    | 1.35 | 1.36             | 1.53  | 1.68  | 1.51 | 1.31  | 1.35 | 1.21     | 1.47    | 1.28    |
| @10 海外旅行が嫌いだ              | 1.27    | 1.19 | 1.21             | 1.87  | 1.24  | 1.26 | 1.18  | 1.17 | 1.18     | 1.21    | 1.22    |
| @11 家族や動物、植物の世話で家があげられない  | 1.75    | 1.83 | 1.87             | 1.24  | 1.66  | 1.98 | 1.72  | 1.42 | 2.05     | 1.38    | 2.28    |
| @12 旅行の申し込み、手続きが面倒である     | 1.63    | 1.64 | 1.64             | 1.13  | 2.15  | 1.64 | 1.59  | 1.72 | 1.53     | 1.43    | 1.78    |
| @13 行ってみたい旅行先でない          | 1.33    | 1.38 | 1.39             | 1.13  | 1.38  | 1.38 | 1.31  | 1.51 | 1.19     | 1.22    | 1.29    |
| @14 ホテルの習慣など旅行先の環境にあわない   | 1.31    | 1.45 | 1.40             | 1.32  | 1.43  | 1.39 | 1.41  | 1.44 | 1.22     | 1.43    | 1.76    |
| @15 空港に出るまでの時間がかかりすぎる     | 1.43    | 1.52 | 1.48             | 1.24  | 1.75  | 1.47 | 1.43  | 1.73 | 1.57     | 1.36    | 1.61    |
| @16 海外旅行は贅沢だ              | 1.69    | 1.64 | 1.63             | 1.16  | 2.22  | 1.51 | 1.66  | 2.19 | 1.63     | 1.43    | 2.33    |
| @17 一緒に行く人がいない            | 1.57    | 1.50 | 1.56             | 1.32  | 1.51  | 1.60 | 1.46  | 1.40 | 1.36     | 1.43    | 2.33    |
| @18 一緒に行く人と休みがあわせにくい      | 1.86    | 1.67 | 1.75             | 1.29  | 1.95  | 1.84 | 1.63  | 1.61 | 1.59     | 1.65    | 2.17    |
| @19 出発日、コース、価格などで条件にあわない  | 1.79    | 1.75 | 1.80             | 1.22  | 2.08  | 1.75 | 1.73  | 1.93 | 1.58     | 1.36    | 1.50    |
| @20 日本の物価が高そうだ            | 2.13    | 2.28 | 2.16             | 1.66  | 3.12  | 2.14 | 2.27  | 2.41 | 2.18     | 1.63    | 2.39    |
| @21 台風がある                 | 2.00    | 1.73 | 1.77             | 1.42  | 2.41  | 1.81 | 1.74  | 2.15 | 1.42     | 1.68    | 1.94    |
| @22 地震がある                 | 2.27    | 1.80 | 1.93             | 1.76  | 2.24  | 1.88 | 1.96  | 2.22 | 1.65     | 1.70    | 2.17    |
| @23 日本語が話せない              | 2.63    | 2.55 | 2.54             | 2.00  | 3.43  | 2.55 | 2.41  | 3.23 | 2.22     | 2.53    | 3.77    |
| @24 日本にはラグビー文化が根づいていない    | 1.57    | 1.60 | 1.63             | 1.16  | 1.83  | 1.61 | 1.48  | 1.87 | 1.34     | 1.36    | 1.72    |
| @25 交通機関の利用が大変            | 1.56    | 1.52 | 1.50             | 1.18  | 2.15  | 1.65 | 1.37  | 1.66 | 1.27     | 1.57    | 1.69    |
| @26 宿泊スタイルが違う             | 1.47    | 1.44 | 1.39             | 1.24  | 2.10  | 1.51 | 1.32  | 1.69 | 1.27     | 1.32    | 1.83    |
| @27 英語での観光表示              | 1.86    | 1.87 | 1.81             | 1.53  | 2.70  | 1.90 | 1.69  | 2.33 | 1.71     | 1.70    | 2.53    |
| @28 食事の違い                 | 1.45    | 1.58 | 1.47             | 1.21  | 2.17  | 1.51 | 1.46  | 1.91 | 1.42     | 1.28    | 2.56    |
| @29 Wifi 環境               | 1.39    | 1.57 | 1.41             | 1.37  | 2.24  | 1.58 | 1.32  | 1.89 | 1.26     | 1.38    | 2.17    |
| @30 魅力ある観光地が不足            | 1.39    | 1.48 | 1.21             | 2.15  | 1.45  | 1.46 | 1.34  | 1.80 | 1.27     | 1.34    | 2.06    |

が8項目あったが、男性の制約が高かった項目は「ホテルの習慣など旅行先の環境にあわない (t (381) = 4.29, p<.05)」「Wi-Fi 環境 (t (383) = 5.68, p<.05)」の2項目であり、残りの6項目女性の方が高かった。「なんとなく行く気になれない (t (380) = 6.12, p<.05)」「飛行機が嫌いである (t (385) = 12.01, p<.01)」「休暇がとれない (t (385) = 12.54, p<.001)」「病気になるのが心配だ(t(385) = 9.32, p<.01)」「海外旅行が嫌いである (t (386) = 4.65, p<.05)」「一緒に行く人と休みがあわせにくい (t (384) = 8.44, p<.01)」「地震がある (t (386) = 16.43, p<.001)」。

**地域別** 3つの地域（ヨーロッパ、オセアニア、南アフリカとアルゼンチンなど南米）の比較では16項目のうち13項目が南アフリカと南米観戦者のスコアが他の地域より高かった。文化や商慣習の違いやインフラの項目「食べ物があわない (F (2,366) = 4.23, p<.05)」「台風がある (F (2,367) = 5.79, p<.05)」「日本語が話せない (F (2,368) = 5.49, p<.001)」「日本にはラグビー文化が根づいていない (F (2,372) = 3.53, p<.05)」「交通機関の利用が大変 (F (2,364) = 7.68, p<.01)」「宿泊スタイルが違う (F (2,369) = 9.79, p<.001)」「英語での観光表示 (F (2,364) = 8.57, p<.001)」「食事の違い (F (2,369) = 8.75, p<.001)」や物価に関する項目「旅行の申し込み、手続きが面倒である (F (2,368) = 7.59, p<.01)」「海外旅行は贅沢だ (F (2,369) = 6.94, p<.01)」「出発日、コース、価格などで条件にあわない (F (2,353) = 4.05, p<.05)」「日本の物価が高そうだ (F (2,365) = 8.69, p<.001)」。オセアニアの制約要因が他の地域より高かったのは「費用がかかりすぎる (F (2,372) = 8.66, p<.001)」と「魅力ある観光地が不足 (F (2,368) = 8.72, p<.001)」で欧州が高かったのは「家族や動物、植物の世話で家があげられない (F (2,370) = 3.38, p<.05)」の項目だけであった。

**年齢層別** 年齢層別では、「休暇がとれない (F (2,384) = 6.27, p<.01)」だけ40歳以下のスコアが高かったが、それ以外の項

目「治安心配である (F (2,383) = 8.09, p<.001)」「言語に不安がある (F (2,383) = 3.53, p<.05)」「海外旅行は贅沢だ (F (2,383) = 5.13, p<.01)」「英語での観光表示 (F (2,378) = 3.69, p<.05)」「Wi-Fi 環境 (F (2,382) = 3.84, p<.05)」では61歳以上のカテゴリーのスコアが強く出た。全体としては年齢層が高い人ほど制約が高いことが明らかになった。

**所得層別** 所得層別では、有意な差が出た項目「なんとなく行く気になれない (F (2,136) = 4.45, p<.05)」「一緒に行く人がいない (F (2,135) = 5.13, p<.01)」「食事の違い (F (2,136) = 8.44, p<.001)」「Wi-Fi環境 (F (2,136) = 4.06, p<.05)」では、4項目すべてで所得の低い層の制約が高かった。

4. 考察とまとめ

本調査において潜在的ラグビーワールドカップ日本大会ファンの制約要因とそれぞれの属性による違い明らかになった。ここでは、レジャー制約研究における3要因（内的制約、人間関係の制約、

構造的制約）のフレームワークで、インバウンドを受け入れる運営側（旅行産業、政府自治体、スポーツ団体）が制御可能な制約と制御不可能な制約(Crawford et al. 1991, Garland 2007, Trail et al. 2008, Nishio2014)に分け制約要因のマトリックスを作成した。

制約要因はおもに運営側がコントロールできるものとできないものがあるが、コントロールできるものは、今後それらの要因を改善して制約を減らすため、情報を提供するなどの対策を検討することが必要となる。また表6の属性のマトリックスと組み合わせることでより問題点と解決策がより明らかになる。

内的制約においては、食事を中心とした環境の違いと言語の問題である。食事に関しては、南アフリカと南米の観戦者の制約が特に高く、英語およびスペイン語などにより多くのレストラン情報などの提供などが有効になるだろう。ホテルの習慣や旅行先の環境に関しては男性の制約が高いため、特に男性に対して宿泊施設の内容やサービスの提供が必要に

表7 潜在的インバウンドラグビーワールドカップファンの制約要因マトリックス

|           | 1 コントロールできる  | 2 コントロールできない   |
|-----------|--|--|
| 1 内的制約    | @3 言語に不安がある<br>@5 食べ物があわない<br>@14 ホテルの習慣など旅行先の環境にあわない<br>@28 食事の違い   | @4 なんとなく行く気になれない<br>@6 飛行機が嫌いである<br>@7 健康に不安がある<br>@8 休暇がとれない<br>@9 病気になるのが心配だ<br>@10 海外旅行が嫌いである<br>@11 家族や動物、植物の世話で家があげられない<br>@13 行ってみたい旅行先でない<br>@16 海外旅行は贅沢だ<br>@23 日本語が話せない |
| 2 人間関係の制約 | @17 一緒に行く人がいない   | @18 一緒に行く人と休みがあわせにくい   |
| 3 構造的制約   | @1 治安心配である<br>@2 費用がかかりすぎる<br>@12 旅行の申し込み、手続きが面倒である<br>@15 空港に出るまでの時間がかかりすぎる<br>@19 出発日、コース、価格などで条件にあわない<br>@25 交通機関の利用が大変<br>@26 宿泊スタイルが違う<br>@27 英語での観光表示<br>@29 Wifi 環境<br>@30 魅力ある観光地が不足 | @20 日本の物価が高そうだ<br>@21 台風がある<br>@22 地震がある<br>@24 日本にはラグビー文化が根づいていない   |

るだろう。また言語に関しては、60歳以上の年配の観戦者が不安を感じているので、観光局などではより年配者に対する言語サービスの提供が重要になってくる。人間間の制約では、日本でのラグビー観戦と一緒に同行してくれる人がいないという制約であるが、この制約に関しては、ツアーのマッチングなどのサービス提供も有効であるだろう。構造的制約では、治安、交通、観光地などに関する詳細な情報の提供が必要になってくるだろう。国別属性からも英語圏以外のフランス、アルゼンチン（スペイン語圏）の観戦者も観戦に来るので多言語でのより詳しい情報提供も必要になってくる。このように制約要因を属性や制御可能かどうかを細分化することで、マーケティング活動をより効率的に進めることができるだろう。

本研究は、ラグビーワールドカップの外国人観戦者（日本人以外）に直接アンケートを実施することで、インバウンドスポーツツーリストの制約要因と属性による違いを明らかにし、先行研究をもとにしたマトリックスによって運営側からみた問題点を明らかにした。今後は、東京夏季オリンピック・パラリンピックも控えているので、他のスポーツでの調査や制約要因と旅行の意志決定の関係なども明らかにしていきたい。

## 参考文献

- ・ 笹川スポーツ財団（2016）スポーツライフデータ2016。テレビによるスポーツ観戦種目別観戦率。 <https://www.ssf.or.jp/research/sldata/tabid/327/Default.aspx>
- ・ 西尾建（2011）日本のラグビーファンの選好と制約要因の分析。日本ニュージーランド学会誌18（1）。P67-80。
- ・ 原田宗彦・木村和彦編集（2008）スポーツヘルスツーリズム、大修館書店。
- ・ JTB総合研究所（2015）。「海外旅行志向調査」p56 海外旅行の阻害要因。
- ・ Crawford, D. W., Jackson, E. L., &

- Godbey, G. (1991). A Hierarchical Model of Leisure Constraints. *Leisure Sciences*, 13, p.209-320.
- ・ Davies, J. & Williment, J. (2008). Sport Tourism-Grey Sport Tourists, All Black and Red Experiences. *Journal of Sport & Tourism* 13 (3), p.221-242.
- ・ Garland, R., MacPherson, T. & Haughhey, K. (2004). Rugby Fan Attraction Factors, *Marketing Bulletin*, 15 (3), p.1-12.
- ・ Lepiso, L. R. & Hannaford, W. J. (1980). Purchase Constraint Analysis: An Alternative Perspective for Marketers. *Academic of Marketing Science Journal*, 8 (1), p.12-25.
- ・ Nishio, T. (2014). The constraint factor of potential international sports fan tourists. *Journal of Marketing*. 20 (2) 137-147.
- ・ Trail, T. T., Robinson, M. J. & Kim, Y. K. (2008). Sport Consumer Behaviors: A Test for Group Differences on Structural Constraints. *Sport Marketing Quarterly*, 17p.190-200.

## 謝辞

本研究における英国での現地調査においては、株式会社JTB本社執行役員青木尚二様、STH Japan社執行役員倉田知己様に多大なご協力をいただきました。ここに御礼申し上げます。

【本論文は所定の査読制度による審査を経たものである。】